



小松工区（矢板打ち&低水護岸工事）



43号線橋梁河口側左岸拡幅工事現場掘削工事始まる。



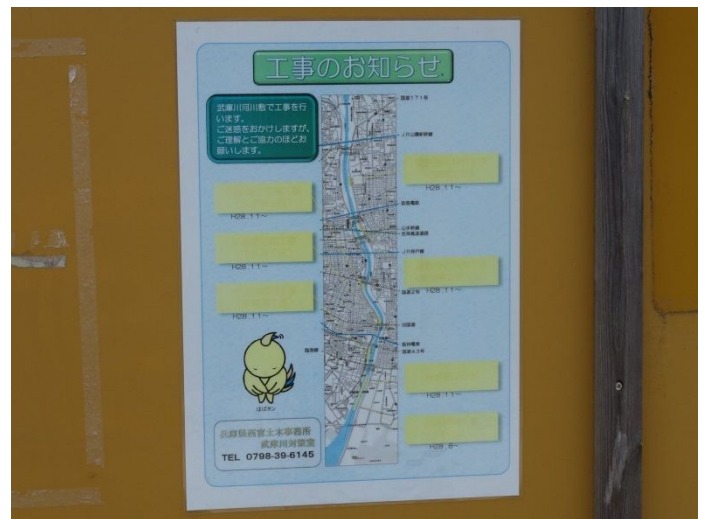
掘削土砂が台船で搬出されている。行き先は分からない。



山手幹線下流側右岸雑木伐採された。



今年も河川改修工事に伴い潮止め堰転倒された。



律儀にも工事終了箇所に目隠しシールが貼ってあった。

拡幅工事区間の掘削工事が順調に進んでいる。掘削土砂は台船に積み込まれ搬出され、町に中をダンプが走り回ることもなく粛々と工事が進むが、矢板抜けるのかどうか気がかりになる。あちらこちらで雑木伐採工事が進み、武庫川講座で服部先生が説明された河川敷の樹木管理が現実に進められていることが確認出来た。雑木が伐採されると、野鳥の住処が失われるであろうが、多くの生きものが住み着かない内に適当な間隔での伐採は考えて見れば里山における輪伐と同じようなもので、河川樹木管理は河川施設維持管理の一環として大切な作業のように思える。見通しの良くなった川を見たら、破損することのない、制水工や護岸の根本に沈められたカゴマットが見え、これらの施設が有効に機能して護岸を守っていることが分かる。制水工の上に伸びた柳の大木も刈りとられたことが分かる。確かに緑に覆われていた方が自然な感じがして、伐木には抵抗感もあるが、やるべき工事だろうと思える。

整備計画に基づく今シーズンの工事はほぼ終わったようで、お知らせも終了箇所はシール覆われていた。



大多田川合流部で名塩道路建設工事が始まっていた。



旧福知山線トンネル側から見た大多田川合流点



武庫橋下流側左岸で見つかった空洞外観



相当量流出で出来た空洞内部の様子。



例年になく大量のアユが遡上している



テナガエビも獲れた。

大多田川合流点で名塩道路建設工事が始まり、大多田川右岸側で橋台工事が始まり少し川幅が広げられたように見える。対岸は手をつけられず何処とつながるのかよく分からないが、延長線上のほぼ真上に旧福知山線トンネルでトンネルの通る大岩を切り取るのか、道路トンネルになるのか分からない。工事現場には工事名しか表示が無く名塩道路の工事名から 176 号線のバイパスか拡幅が分からずこの先どうなるのか興味津々。

甲武橋で見つけた空洞を西宮土木に通報した。既に承知しており現在工法を検討していると回答があった。同時に提供したアユ遡上情報に、今後の水生生物にとって理想的な環境整備を行うための参考にしたとの返答に加え「県では県民の皆様からのご意見、ご要望など県政に反映し、『参画と協働』による県政の推進を目指しておりお気づきの点があればお気軽にご連絡下さい」と書き添えられ、県との距離感が少し縮まった感があるが、西宮土木事務所 武庫川事業課長名で氏名が無く、丁寧な対応に反し、役人らしい慎重さが感じられた。

昨年に引き続き遡上時期の潮止め堰転倒が功を奏したのか、運良く増水したのが良かったのか分からないが、近年に無い大量遡上に加え少し魚体も大きい。近隣河川でも同じことが起きたのかどうか未確認。